

第一章 民藝以前の東洋と西洋

民藝以前の東洋 10

民藝以前の西洋 14

英米のアーツ・アンド・クラフツ 16

英国のアーツ・アンド・クラフツ 16 — 米国のアーツ・アンド・クラフツ 20

欧米から日本へ訪問した美術家・工芸家・建築家 26

ゴットフリート・ワグネル 27 — クリストファー・ドレッサー 28 — アーネスト・フェノロサ 30

アーサー・ウエズリー・ダウ 31 — フランク・ロイド・ライト 33

「民藝」以前の日本の陶芸家・教育美術家 35

宮川香山 35 — 納富介次郎 37

第二章 民藝の展開

「民藝」誕生直前の関連人物の活動 44

板谷波山 44 — 富本憲吉 46 — バーナード・リーチ 49

柳宗悦と浅川伯教・浅川巧 52

柳宗悦 52 — 浅川伯教・浅川巧 57 — 朝鮮民族美術館開設 59 — 木喰五行上人の研究 60

東京高等工業学校出身の河井・濱田・芹沢 62

河井寛次郎 63 — 濱田庄司 64 — 芹沢銈介 67 — 『日本民藝美術館設立趣意書』 69

大礼記念国産振興東京博覧会と「民藝館」 71

倉橋藤治郎 73 — 日本民藝館の開設 75

「民藝」開始期に日本を訪れた欧州の人々 79

上野リチ・リックスと上野伊三郎 80 — ブルーノ・タウト 82 — シャルロット・ペリアン 84

第三章 戦後の民藝

89

戦前・戦後の「民藝」関連の施設建設 90

- 「民藝」における建築・施設の重要性 90
- 日本民藝館の再開 91
- 倉敷民藝館 94
- 鳥取民藝美術館 96
- 英国グーティントン国際工芸家会議や米国各地を訪問 98
- 松本民芸館 100
- 大原美術館工芸館 102
- 熊本国際民藝館 105
- 富山市民芸館・富山市民俗民芸村 106
- 日下部民藝館 107
- 愛媛民藝館 109
- 浦辺鎮太郎が設計した民藝館・工芸館 110
- 丹波古陶館 111
- 大阪日本民芸館 112
- 河井寛次郎記念館 114
- 出雲民藝館 116
- 棟方志功記念館 117
- 瀆田庄司記念益子参考館 118
- 益子陶芸美術館 119
- 京都民芸資料館 120
- 静岡市立芹沢銈介美術館 121
- 国際基督教大学博物館湯浅八郎記念館 123
- 豊田市民芸館 124
- 出羽の織座 米澤民藝館 125
- 山根和紙資料館 127
- 安部榮四郎記念館 127
- 桂樹舎・和紙文庫・民族工芸館 129
- 東北福祉大学芹沢銈介美術館工芸館 130
- 多津衛民藝館 131
- 浅川伯教・巧兄弟資料館 132

第四章 教育と二十世紀の民藝

135

アジア植民地時代開設の美術・工芸学校と独立後のデザイン大学 138

- マニラ素描絵画アカデミーとフィリピン国立大学美術学部 139
- インド南東、マドラスの美術教育 140
- インド北東、カルカッタの美術教育 141
- インド北西、ボンベイとパキスタン・ラホルルの美術教育 143
- インド北西、アームダバードのデザイン教育 144
- ベトナム、ホーチミン市とドンナイの美術教育 146
- ベトナム、ハノイの美術教育 148
- タイ、バンコクの美術教育 149
- 日本の美術・工芸・デザイン校の歴史と現在 151
- 工部美術学校と東京美術学校 151
- 京都府画学校・京都市美術学校・京都市立美術工芸学校 154
- 東京高等工業学校から東京高等工芸学校へ 155
- 京都高等工芸学校 158
- 東京府立工芸学校 161
- 大阪市立工芸学校 162
- 九州芸術工科大学 164
- 金沢美術工芸大学 166
- 東京工芸大学 167
- 京都美術工芸大学 168

中国の美術学院・工芸美術学院 171

- 中国陶業学堂 172
- 中央美術学院と中央工芸美術学院 173
- 山東工芸美術学校 175
- 二十世紀の民藝と建築 177
- 中央美術学院美術館と中国美術学院 178
- 中国美術学院の中国国際設計博物館・民藝博物館 180

あとがき 190

民藝に関する二世紀近くの日本と世界の年表 194